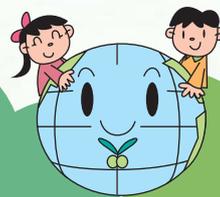


びわこ地球市民の森



Vol.49

森づくりサポーターニュース

平成26年(2014) 7月1日発行

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>



昆虫や鳥たちが棲む緑豊かな森を育てるために 育樹活動に皆様のご協力をお願いいたします

滋賀県営都市公園「びわこ地球市民の森」は、21世紀記念事業として、2001年4月に苗木植樹を開始して以来、2013年度末で約16万本を植え終わり、育樹の段階を迎える状況となりました。全国的にもユニークな市民と行政(県)との協働による都市地域での自然再生事業として、県内外の多くの皆さんから植樹活動にご参加いただき感謝申し上げます。

苗木から木々が生長し、動植物の豊かな森へと育っていくには、明治神宮や近江神宮の姿にも見られるように1世紀近くを要します。そして、樹木の健全な生育には、初期の間伐や枝落としなどによる手入れを必要とします。「びわこ地球市民の森」では、すでに「森づくりサポーター」などボランティアの皆さんによる育樹活動が始まっていますが、今後、20年間程度は、森づくりへの一層の取り組みが求められます。

また、新しい「森づくりセンター」が昨秋にオープンし、この4月には、子供たちに人気のある「大型遊具施設」も設置されました。今後も、森の生長とあわせて、かつては身近にあった自然とふれあい、楽しみ学

んでいく都市公園の整備を進めます。手軽に参加できる多様なプログラムも整えて、幅広く活用を目指していきます。

本年度から、公園管理が県から指定管理(シダックス・ハウスビルグループ)へ移りましたが、毎年、「びわこ地球市民の森のつどい」で斉唱されている“森づくり宣言”は、私たちの将来の課題です。“地球の住み人(地球市民)”として、“「びわこ地球市民の森」をつくり、育て、次の世代に引き継いでいくこと”への取り組みに、「森づくりサポーター」はじめ、皆さんの一層のご協力ご支援をお願いいたします。



森の新しい管理体制がスタート



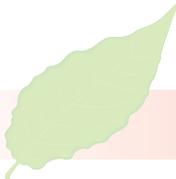
指定管理者 「シダックス・ハウスビルグループ」
代表者 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
関西支店 支店長 山田 智治

私たち「シダックス・ハウスビルグループ」(以下グループ)が、今回この「滋賀県営都市公園 びわこ地球市民の森」(以下びわこ地球市民の森)指定管理者として参画致しました一番大きな理由は「環境・自然を守り、育て、次の世代に繋げていく本事業」に深く感銘したことにあります。弊社の企業理念として「はぐくむ大切なところ」がございます。これは親から子へ、子から孫へと世代を超えて伝えていく、繋がっていく事の大切さを説いております。

「びわこ地球市民の森」は一朝一夕で完成する事業ではございません。次の世代を見据え、私たちは同じ思いを持って育樹やビオトープを守っていく、そしてそれを受けた後世の方々が同じように守り伝えていくことではないでしょうか。また本公園は、公園全体をビオトープの場として捉え、様々な植物、昆虫、動物が生息しうる生態系の構築を目指しているところももう一つの大きな特徴です。

このように、本公園には大きな特徴があり、ビオトープネットワークのさらなる拡大と、長年携わりをいただいておりますサポーターやボランティアの皆さまとの協働の継続による「自然と人との調和を目指す」事が求められております。

そして今回、里の森ゾーン芝生広場には滋賀県様に設置いただきました遊具「冒険の森」が完成いたしました。私たちはこれまで同様、サポーターやボランティアの皆さまのお声を聴き、皆様とともに「新しいスタイルの都市公園」の実現を目指してまいります。皆様方には引き続き「びわこ地球市民の森」を応援いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。



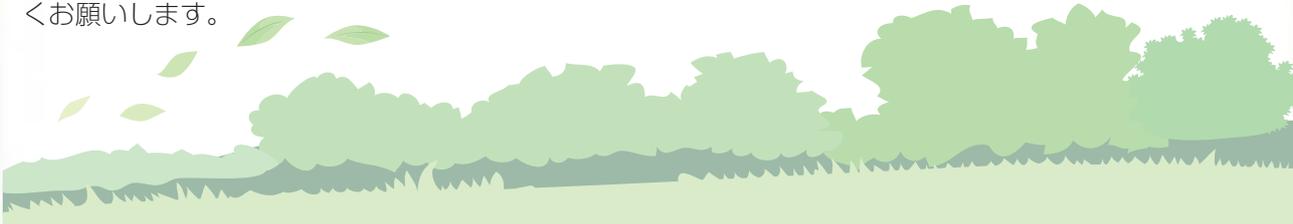
びわこ地球市民の森 森づくりセンター所長 江見 和 綽

このたび、4月1日付けで、びわこ地球市民の森・森づくりセンター所長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

県営都市公園「びわこ地球市民の森」は、平成13(2001)年4月から県民、団体、企業等幅広い皆様の植樹参加による森づくり活動をはじめ、今年4月に13年を経過しました。植樹については、平成25(2013)年秋期をもって完了したところであります。皆様のご協力により、苗木の植栽は平成26(2014)年3月末で、累計植樹本数160,967本、総件数は332件、参加者は延べ45,994人となりました。

皆様によるボランティア活動の内容は、今年度から健全な森へ成長させる育樹活動に大きく舵を切ることになりましたが、同時にこれまでの県直営から指定管理者による公園経営に変わりました。これからの5年間(平成26(2014)年4月1日~31(2019)年3月31日)は、「シダックス・ハウスビルグループ」が指定管理者として公園経営に関わらせていただくことになりました。

私たちスタッフ一同、新たにスタートいたしますが、今後も引き続き皆様と共に除草・間伐・枝落としなどの育樹活動を進め、昆虫や鳥などの様々な生き物が棲む自然豊かな森づくりに努めてまいりたいと思っております。サポーターの皆様には、これまでと同様に「びわこ地球市民の森」を応援していただきますようよろしくお願い申し上げます。



樹木の生長状態と樹林密度調査について

びわこ地球市民の森では、平成25年度末現在で、77か所の植栽木生育調査プロット(5m×5m)を設置し、3年毎(2011年2月以前は2年毎)に生育調査を実施しています。各プロットでは、植樹年と樹種、生立本数、樹高の調査を行い、保育管理や密度管理など、適切な森づくりに役立てています。森づくりサポーターニュースVol.46(25年9月5日発行)、47(26年1月1日発行)では、その一部ですがゾーン毎に樹種別平均樹高の推移をグラフ等で紹介しました。

今回の「樹木の生長状態と樹林密度調査」は、上記の調査とは別に外部に調査を委託しました。

平成13(2001)年4月から森づくり(植樹)を始めて13年が経ち、最初に植えた樹木は、現在樹齢15年(全樹種で植樹時の樹齢を2年として計算)になりました。間伐は4年後の平成17(2005)年から生長順に始め、9年を経ています。

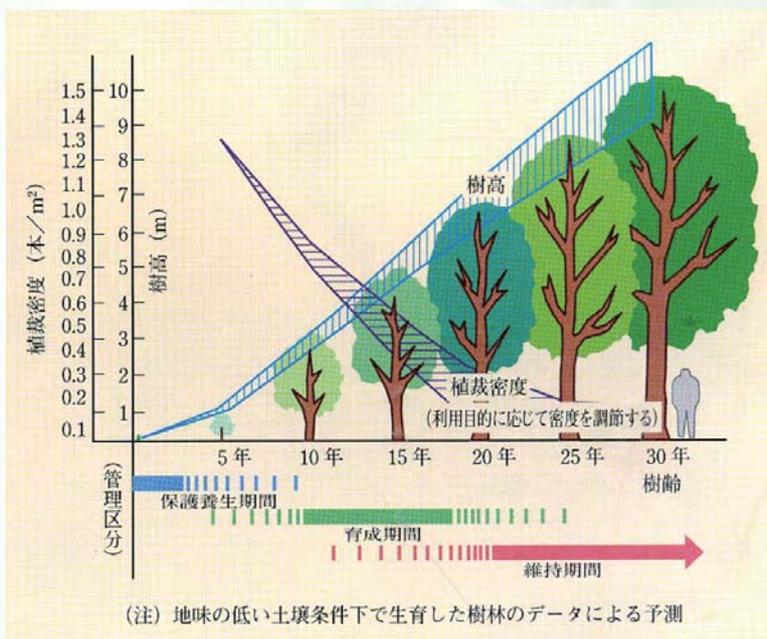
この調査は、全体的または部分的に、これまでの森づくりが順調に行われているか、またそうでない場合は、どのような対策を取ればよいかについて検討し、今後適切な育樹管理をしていくための資料とするものです。森づくりサポーターニュースVol.18(18年10月1日発行)～20(19年3月1日発行)の森を育てようシリーズで、「樹林密度の管理」について紹介していますが、報告書では、その紹介時に使用した「予測図」(図参照)と実際に調査した数値を比較してまとめています。

「びわこ地球市民の森」は野洲川廃川後の更地を盛土したり掘削した地盤ですが、一部には客土された土も

その厚みも樹木の生長にとって十分でないところもあります。そこで、参考とする「予測図」も「地味の低い土地条件下で生育した樹林のデータによる予測」図を使用しています。

健全な森づくりを進めていくためには、樹齢に応じた樹林密度の維持管理が大切です。今回は樹林密度の内容に厚みを加えるために、合わせて樹林の種類、枝の重なり程度、樹冠植被率、最高樹高、樹高の高い順に3種類の樹種名、最大幹直径(高さ1.2mの位置)についても調査を実施しました。

具体的な調査内容と考察については、次号で報告します。



予測図

樹 齢	樹 高	植栽密度 (本/100m ²)	備 考
0年	平均 0.5m	200本/100m ²	保護養生期間
5年	〃 1m	130本/100m ²	〃
10年	〃 3m	75本/100m ²	育成期間
15年	〃 5m	45本/100m ²	〃
20年	〃 6.5m	利用目的に応じて調節	維持期間
25年	〃 8.5m	利用目的に応じて調節	〃
30年	〃 10m	利用目的に応じて調節	〃

樹齢と樹高、植栽密度の関係
(上の予測図を数値で表したもの)



竹尺による本数測定

びわこ地球市民の森に 「冒険の森」(遊具)が完成しました

びわこ地球市民の森 森づくりセンター横の芝生広場に「冒険の森」が完成し、平成26年4月26日(土)に、オープニングセレモニーが開催されました。

当日は初夏を思わせるような晴の日で、式典に参加された県、市、自治会、そしてたくさんのお父さんやお母さん方が見守る中、ひなぎく保育園をはじめ完成を心待ちにしていた子供たちが元気に初プレーを楽しみました。

「冒険の森」は、樹木の上のツリーハウスをモチーフとしたデザインが特徴の大型遊具で、ローラーライダー、ネットジャングルなどの遊具を複合的に組み合わせて構成されています。

緑の森と広い芝生の中、子ども達の自由な発想による森の冒険遊びを通じて、びわこ地球市民の森での森づくり活動を身近に感じていただけたと思います。



たくさんの方々が親子連れで楽しんでいました。

お知らせ

第1回 森づくりサポーター活動

平成26年度第1回目のサポーター活動を実施します。夏の暑いなかですが、森のすがすがしい空気を吸って心地よい汗を流してください。

実施日 平成26年7月19日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森

内容 植栽地の育樹活動とクラフトづくり

平成26年度森づくりサポーター活動の計画

平成26年7月19日(土)	植栽地の育樹活動とクラフトづくり
平成26年10月12日(日)	植栽地の育樹活動と樹名板設置
平成26年11月9日(日) 予定	2014 びわこ地球市民の森のつどい
平成27年3月7日(土)	植栽地の育樹活動とシイタケの菌打ち

編集後記

森の管理が指定管理へ移行した関係で、毎年春に実施していた「びわこ地球市民の森のつどい」を今年度に限り、11月に実施します。秋らしい森のつどいとなるようこれから準備を進めます。

今後とも皆様のご支援とご協力をよろしく願います。
(森の職員一同)

森の植樹状況 2014.3 現在

植栽面積	808,080 m ²
参加者数	45,944 人
植栽本数	160,967 本
つどいのゾーン	23,666 本
ふれあいゾーン	40,460 本
出会いのゾーン	21,158 本
里の森ゾーン	75,683 本